

# 鳥海 国定公園 飛島全島MAP

Touch! GEOPARKS JAPAN

## 鳥海山・飛島ジオパーク



### TOPICS

#### 丸石の謎 霊の拵り所／賽の河原

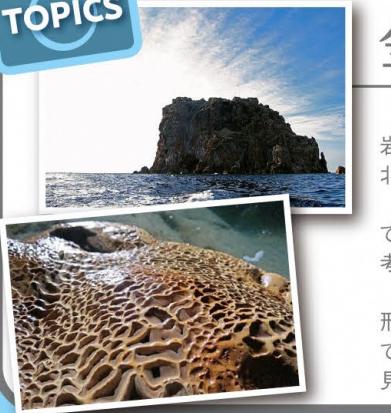


賽の河原はこぶしほどの大きさの丸石が大量に打ち上がった浜です。島民がめに近く寄らぬ場所で、ふるくら壱の寄りつく処、あの世だと信じられてきました。

この丸石は安山岩という岩ですが、付近の岩とは種類が異なるものです。沖に見える鳥帽子群島には「ズズ浜」という丸石が集まっている浜があります。この浜の石は賽の河原と同じ種類の岩ですので、賽の河原の丸石は鳥帽子群島由来する石ではないかと思われます。鳥帽子群島の岩が長い時間をかけて侵食され、波浪、海底の地形、地面の隆起、海水面の上昇下降など、いくつかの理由によって賽の河原にたどり着いたものではないかと考えられます。

### TOPICS

#### 金鱗の謎 海の聖地／御積島



標高77mの御積島は流紋岩の島で、島の洞窟の内部には鱗状の岩肌が広がっています。ここは龍神のむすび所と信じられていて、島民や北前船の船乗りたちの篤い信仰を集めています。

御積島にはウミネコをはじめとした多くの海鳥が繁殖することで知られています。実は、この鱗状の岩壁は崖上で繁殖する海鳥と関係があると考えられています。

火山活動と海蝕によってできた島と洞窟に、海鳥が棲息することで形成された独特の造形。海の人はその造形に神秘の眼差しを向いたのでした。御積島は、「ジオ」と「自然」と「文化」が交錯する、物語性あふれる見どころとなっています。

## とびしま歳時記

# TOBISHIMA SAIJKI

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
冬	岩のり・カスペ・アワビ・ナマコ・ヤリイカ・タコ・タラ	春	ワカメ・アラモ・メカブ・カメノテ・グンメ・ホッケ・メバル・スカリ・島竹	夏	トビウオ・サザエ・イグサ・イカ・もずく・えご・グッчи・ごどいも・トビシマカンソウ	秋	アオリイカ・アワビ・おばたこ・塩辛・ソナ				
食	ヤリイカ タラ		スルメイカ メバル アイナメ・メジナ		アオリイカ アイナメ・メジナ	黒鯛 真鯛 アジ	ヒラマサ マハタ・キハタ				
釣り											
野鳥			ムギマキ キビナゴ オオリ	コホオアカ ヤツガシラ マジロキビナゴ	カラスバト			ジョウビタキ コホオアカ シラガホオジロ ヤマヒバリ			
植物			スカシユリ トビシマカンソウ ハマナス・ハマエンドウ・ハマヒルガオ オオバナ・ミナガサ カノコソウ			オニユリ カワラナデコ					
生活			エンエンガサク・キクザキイチゲ クリーンアップ	火合わせ神事	海水浴	トビウオ漁 イカ漁	メバル・マグロ漁				
			例大祭 ワカメ・アラモ採り クダリ夜干し			トビウオ漁 イカ漁					

[島渡し・船釣り]  
御積島周辺と鳥帽子群島、二俣島などの岩場や船釣りでは、60cmを超える大型のマダイ、クロダイ、コブダイ、イシダイ、メジナなどがあがります。

[島内]  
防波堤や浅い岩場、港内では良型のアジ、アイナメ、ウミタナゴ、ヒラメ、ヒラマサなどが釣れます。

飛島は渡り鳥の中継地として名高く、春（4月下旬～5月中旬）と秋（9月下旬～11月中旬）には日本では珍しい大陸系の鳥などが通過していきます。約300種程の鳥が記録されています。

長旅の疲れを癒す渡り鳥が畠を探す姿やフェンスに止まる姿がたびたび観察されており、普段は目にすることが難しい珍鳥の姿を間近に観察することもできます。野鳥観察の定番は、農免道路周辺の畠を北に向かい、山グラウンド、緊急ヘリポート、ボート、とびしま総合センターへと島内を一周するコースです。

「タブノキ」は日本海側で最も北の群落とされ、宮谷沢ダム、巨木の森が見ごたえがあります。

館岩や海岸線では、寒地系植物のオオバナ・ミナガサなどが花を咲かせ、岩肌には暖地系植物のハイビャクシンが自生しています。

農免道路より北の遊歩道周辺では、キリンソウなど山地に生育する野草が花を咲かせ、飛島が北限とされるムベ、ヤブミョウガが生育しています。

荒崎では、固有種とされるトビシマカンソウやスカシユリ、オニユリが群落をつくり、荒崎頸部(いけいぶ)の植物群落として酒田市の天然記念物に指定されています。

[館内]  
定期船の入出港、勝浦・中村集落が見渡せます。

[海岸遊歩道]  
御積島・鳥帽子群島が見渡せます。

[荒崎海岸]  
日本の渚百選に選ばれた景勝地です。春にはスカシユリ、初夏にはトビシマカンソウ、盛夏にはオニユリが群生します。

[八幡崎・渚の鐘]  
荒崎から田下まで西海岸を一望できます。

[鼻戸崎]  
寺島周辺のエメラルドグリーンの海、日本海の向こうには鳥海山が浮かび上がります。

[島渡し・船釣り]  
御積島周辺と鳥帽子群島、二俣島などの岩場や船釣りでは、60cmを超える大型のマダイ、クロダイ、コブダイ、イシダイ、メジナなどがあがります。

[島内]  
防波堤や浅い岩場、港内では良型のアジ、アイナメ、ウミタナゴ、ヒラメ、ヒラマサなどが釣れます。

島の周辺は対馬海流の影響で、東北の海とは思えないほど温暖で透明度が高く、貴重なサンゴが群生し亜熱帯性の魚が生息するなど、ダイビングに最適です。初夏、御積島近くの海中洞窟では、産卵のために訪れるドチザメを観察することができます。館内側(港側)は飛島サンゴ類群棲地として県指定天然記念物に指定されており、ムツサンゴ、東北では珍しいオノミチキサンゴが群生しています。

[荒崎・ゴトロ浜・オボゲの浜]  
遊歩道はありませんが、海沿いを歩きながら貝拾いや磯歩きが楽しめます。また、海岸には緑色火山弾、石英脈の破片、溶結凝灰岩など、珍しい岩が軽がっています。